

「働くことを軸とする安心社会」の実現を目指そう！
NO、44
2018年6月1日

連合西部

ニュース

いきいき

連合島根西部地域協議会
〒697-0022
島根県浜田市浅井町62-4
TEL0855-24-2055
FAX0855-24-2056
○発行責任者 皆尾 智幸
○編集責任者 土岡 勉

「平和・人権を守り、あらゆる差別をなくそう！
働く者のための働き方改革をすすめ、すべての仲間と結集しよう！」



第89回メーデー各地で開催！

今年も89回目を迎える「労働者の祭典」メーデーが、『平和・人権を守り、あらゆる差別をなくそう！働く者のための働き方改革をすすめ、すべての仲間と結集しよう！』をスローガンに各地区で開催された。

各地区での式典には、連合島根、連合島根西部地協、各市の首長、連合推薦・支持議員団、労働者福祉事業団体の皆様を来賓としてお招きし、主催者あいさつ、来賓あいさつを受けた

後、第89回メーデー宣言を参加者全員で採択し、デモ行進や参加者全員のイベント競技、寸劇、プラカード審査、そしてお楽しみの福引抽選会など地区毎に特徴あるメーデーが盛大に開催された。

また、今年4月9日未明に発生した大田市を中心とする島根県西部地震に対する義援金カンパの取り組みも各地区で実施された。このカンパ金は、チャリティーゴルフ大会のカンパ金と合せ大田市に義援金として寄付をする。

第89回メーデー各地区会議開催状況

地区	開催日時	場所	内容	規模
大田	地震のため延期			
邑智	4/26 (木) 18:30～	悠邑ふるさと会館	式典、寸劇・プア、福引	200
江津	4/28 (土) 9:30～	江津市市民センター	式典、デモ行進、プア、福引	300
浜田	5/1 (火) 18:15～	浜田市役所前広場	式典、デモ行進、福引	400
益田	5/1 (火) 9:30～	さくらドーム	式典、プア、外サショ、福引	400

～「賃金引上げ」「すべての労働者の立場に立った働き方」の実現を～



今年も労働者にとっての熱い闘い春闘がスタートした。今年の春闘は、「経済の自律的成長」「包摂的な社会の構築」「ディーセント・ワークの実現」に向け、月例賃金に拘り「底上げ・底支え」「格差是正」の実現に向けた闘争を組むことや長時間労働の是正など「すべての労働者の立場に立った働き方」を見直すことなどに重点を置いた取り組みとあわせ運動の両輪としての「政策・制度実現」に向けた運動を並行して展開することとした。そうした取り組みを内外にアピールするとともに、各構成組織・単組における春闘の盛り上げ、そして春闘勝利に向け、3月14日の邑智地区会議を皮切りに、

各地区 2017 春闘勝利総決起集会開催状況

開催組織	開催日時	開催場所	規模
連合島根	3月17日 18:30～	松江大手前広場	
大田地区会議	3月14日 18:00～	労金大田相談センター	
邑智地区会議	3月15日 18:30～	悠邑ふるさと会館	
江津地区会議	3月3日 18:30～	会館「あずま」	
浜田地区会議	3月17日 18:30～	いわみーる	
益田地区会議	3月16日 18:00～	益田市民学習センター	



2018 春闘勝利総決起集会アピール、3.8 国際女性デーアピール、官公部門連絡会の特別決議などを参加者全員で採択し、デモ行進を交え 2018 春季生活闘争勝利総決起集会が開催された。

第6回エネルギー研修会を開催！

連合島根西部地協 2018エネルギー研修会



ガラス原料と溶かし合わせて、固体化（ガラス固化体）にして、地下300mより深い安定した岩盤に埋蔵するという「地層処分」について学習した。

地層処分は、地上で保管するよりリスクが少なく、将来世代の負担の軽減につながるなどについて説明を受けたが、今後、幅広く国民的コンセンサスを得る取り組みが大きな課題となっていることも判った。

西部地協は、4月14日（土）浜田市の「いわみーる」において本年度も青年女性委員会と共催で、6回目となるエネルギー研修会を開催した。

研修会の内容は、東京にある「原子力発電環境整備機構」（NUMO）のご協力の下、「高レベル放射性廃棄物」の地層処分について学習した。

東北大地震で発生した福島原発事故により、原子力発電のあり方を含め活発な議論が展開されている。

日本の電気エネルギー源の確保の上で、原子力による発電が現存する中であって、核燃料の再処理時に発生する高レベル放射性廃棄物や将来的に原子力発電の廃炉時の放射性廃棄物などの処理方法について、避けて通れない大きな課題となっている。

今回、そういった処理方法で、検討が進められている、使用済み核燃料の再処理時に発生する高レベル放射性廃棄物（廃液）を、高温で溶かした



大田地震災害ボランティア活動！

連合島根では2014年に災害対策の一つとして災害時の対応やボランティア派遣に対するルールを確認して運用を図ってきている。また、島根県社協が運営管理する団体「災害ボランティアバンク」に団体加盟し要請があれば対応することとしている。

4月9日未明に大田市を震源とする地震が発生した。震源地となった大田市では震度5強の強い地震に見舞われ、建物被害は1000件を超え一時避難を余儀なくされる方々がいるなど生活に支障をきたす状況となった。生活支援としての災害ボランティアセンターや一般ボランティアについて4月14日から募集が始まったことを受け、連合島根は、西部地協および出雲・雲南地協を中心に4月23日以降の日程について、5名/日を派遣することを決定した。

西部地協では、連合島根の決定に基づき現地の大田地区会議を除く、益田・鹿足、浜田、江津、邑智の4地区会議の協力を得て、4月23日（月）～27日（金）までの間、各地区会議から1名のボランティアの派遣を行い、延べ18名の皆さんに参加をいただいた。

ボランティア活動の内容は、倒れたブロック塀の片付け、散乱した室内の清掃や片付け、屋根のブルーシート張りの援助などを行った。

ボランティア活動に参加された皆さんに改めて敬意を表する。



西部地協第七回東北・九州震災復興支援チャリティ親睦ゴルフ大会開催！



西部地協は、2011年3月11日に発生しました東北大地震の復興支援に協力する立場から、2012年5月に第1回目として東北大地震復興支援チャリティゴルフ大会をスタートして今回7回目の取り組みとして贈呈した。

今回73名という多くの皆さんにご参加をいただき、チャリティ募金73,000円は、大田地震災害義援金として大田市の方へ寄付として贈呈した。



～中国労金からのお知らせコーナー～

会員構成員さま
限定

1号・3号・4号特別会員
構成員さまに限りです。

〈ろうきん〉が、若いあなたの

マネーライフを全力応援！

新入組合員と20代の組合員を応援！

フレッツシヤーズ特典プレゼント！

【取扱期間】2018年4月1日（日）～2019年3月31日（日）